

算数教材「アイテム」について

平成 25 年 3 月 6 日

算数科

1 アイテム導入の経緯

子どもたちに、数と計算領域の基礎的・基本的な問題だけではなく、4 領域から広く多様な問題にも取り組ませたい。(発展的な問題に取り組ませたい!)

2 アイテムの特徴

「アイテム」は、子ども一人ひとりの理解力にあわせて使える構成となっている。

- ① 最初の 2 つのステップ「テーマ」＋「練習しよう」、「たしかなものにしよう」では、教科書レベルの問題を詳しい解説とともに掲載してある。この 2 つのステップを解いていくだけで教科書にある知識や技能はマスターできるようになっている。
- ② 3 つ目のステップ「活用する力をつけよう」では、教科書の内容をほんの少しふくらませた問題で構成してある。教科書の内容をある程度理解していれば充分解ける問題になっている。
- ③ 最後のステップ「チャレンジしよう」は、基礎・基本をより深く理解させるためのコーナーになっている。少し発展的な問題をやってみてはじめて教科書の内容がよくわかるということも少なくない。『できなくて当たり前、できたらすごい!』という意識で取り組ませてほしい問題になっている。

3 アイテムの活用状況について

算数の授業や朝のチャレンジタイム(木曜日)、家庭学習などで確実に活用している。しかし、算数の習熟状況は子ども一人ひとり違うため、その子に応じた問題を選び活用している。つまり、子どもによって活用状況に差が生じている。

4 アイテムの取り扱いについて

上記で述べたように、アイテムはたくさんの要素を盛り込んだ教材になっている。可能な限り活用しているが、最後まで全てを消化することは難しい。アイテムには、「解答と解説」が付いている。残った問題は、春休みに家庭学習として取り組んでほしい。

5 その他

- (1) アイテムは、昨年度まで教材として活用していた「計算ドリル」の内容も含まれている。つまり、多様な問題を数多く取り組むことができるようになった。
- (2) アイテムの価格は、昨年度までの教材費よりも安くなっている。
- (3) 子どもの習熟度に応じた学習が、昨年度よりもできるようになった。

学習のまとめの時期になりました。

アイテムを利用して、個に応じた指導の充実に努めてください。